

**(仮称)墨田区産業観光マスタープランの
進捗報告について**

～ 産業観光部のあり方～



産業観光部産業振興課

【総括】墨田区産業振興マスタープラン(平成25年度～令和4年度)

<h2>ビジョン</h2>	<h3>10年後のビジョン</h3> <p><u>Stay Fab 楽しくあれ!</u></p> <p>すみだに住み、働く人々が「すみだらしさ」である「ものづくり(= fabrication)」の文化に「誇り」を持ち「楽しく(= fabulous)」過ごしている</p>
<h2>戦略・施策の方向性</h2>	<h3>戦略</h3> <p>『新しい「コト」を興す』</p> <ul style="list-style-type: none">• 進化・継承• 発掘・創出• 交流・誘発 <h3>施策の方向性</h3> <ul style="list-style-type: none">➤ 産業と観光の融合➤ 外部資源の活用と人材育成➤ 新しいものづくりの拠点➤ 新分野への展開➤ 消費者を意識した新しい商業展開➤ 区の基本的な取組姿勢(商・工・観の融合、意識の高い事業者への「集中的」支援)
<h2>総括</h2>	<ul style="list-style-type: none">◆ 新ものづくり創出拠点やフロンティアすみだ塾などの実施により、ベンチャー企業やクリエイターの集積・企業ネットワークの拡大・強化といった成果が表れている。◆ 一方、区内産業を取り巻く社会経済状況は、マスタープラン策定時から大きく変化していることから、社会状況等の変化に合わせ、短いサイクルで事業を実施・改善できるプランにしていく必要がある。◆ 区の基本的な取組姿勢をブラッシュアップさせつつ、各事業との紐づけを行っていく。

【総括】墨田区新商業振興プラン「地域力を育む商業空間づくり振興プラン」
(平成29年度～令和3年度)

ビジョン

5年間で目指すビジョン

- 商業者が自店舗の置かれた環境を踏まえた経営改善に取り組んで、成果をあげている
- 既存商業者の経営改善や、新規商業者の開業によって、各地域や商店街において魅力的な個店の密度が増加している
- 地域に信頼される人材によって、各地域においてエリアマネジメントの活動が具体化し、地域力が強化されている

基本方針・
基本施策

基本方針

- 意欲ある商業者の、地域ニーズ把握や環境への対応を支援する
- 地域ニーズを意識した個店経営を後押しして、魅力的な個店を増やす
- 区内各地域に密着して顔の見える継続的な支援を行う

基本施策

- 個店支援・創業誘致
- 「商業コーディネーター(仮称)」「商業支援専門家(仮称)」の育成・配置・活用
- 商業空間の調査、情報発信

総括

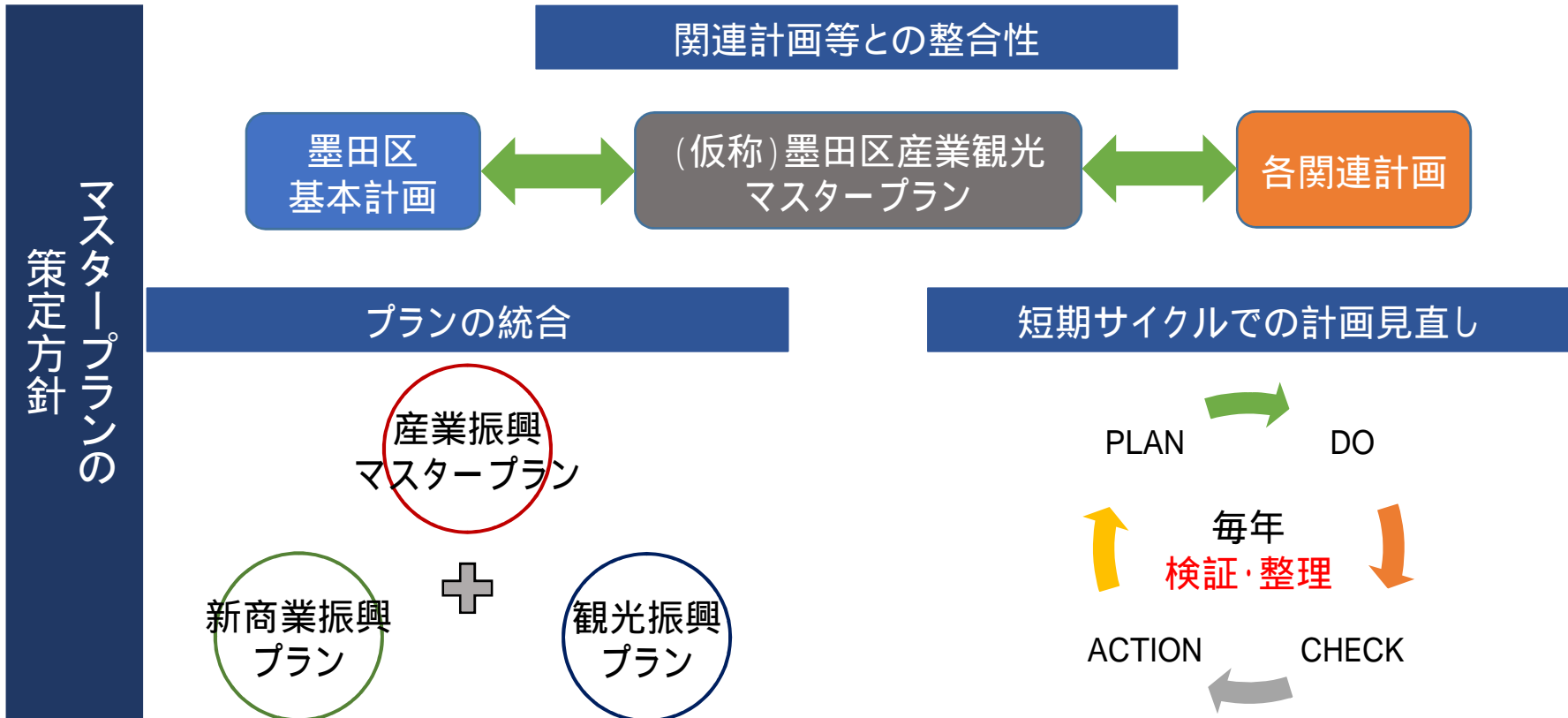
- ◆ 区商連との連携や商業コーディネーターの活動等により、**新型コロナウイルス拡大への柔軟な対応や魅力的な個店の増加**といった一定の成果が表れている。
- ◆ 一方、社会経済状況は大きく変化していることから、既存の区内商店や商店街への支援はもとより、商業コーディネーター等を活用し、地域との信頼関係を構築した上で、魅力的な個店の創出や情報発信などを引き続き行っていく。

【総括】墨田区観光振興プラン(平成27年度～令和2年度)

ビジョン	6年間で目指すビジョン 東京スカイツリー®を活かし、暮らしてよく、訪れてよい、「国際観光都市すみだ」をつくる。		
基本理念・ 観光都市づくり の視点・戦略	基本理念 <ul style="list-style-type: none">• ビジターズ・インダストリー(観光の視点を生かした幅広い産業群)の創出• 愛着と誇りの持てるわが街すみだづくり• 総力を挙げて取組む観光まちづくり	視点 <ul style="list-style-type: none">• 国際観光• まち歩き観光• こだわり観光	戦略 <ul style="list-style-type: none">➢ 観光プロモーションの充実➢ 北斎・江戸文化の魅力の再発見・再編集➢ 産業と観光の融合➢ 水都すみだの再生➢ 観光振興を支える基盤の充実
総括	<ul style="list-style-type: none">◆ スカイツリーの開業により、墨田区の知名度は向上してきた。◆ 一方、策定時に想定していた「スカイツリーを起点に様々な観光資源を回遊する」という観光スタイルは観光客の実態と大きく乖離している。さらに、新型コロナウイルス感染症の拡大によるインバウンドの消失など、策定時と状況が大きく変化している。◆ スカイツリー中心の観光から脱却するため、地域の魅力を掘り起こし、そこに光を当てる(=日常の観光資源化)ことで地域の価値向上を図っていく。		

(仮称)墨田区産業観光マスタープランの策定

背景：「平成30年度墨田区産業振興会議」において、区内産業を取り巻く社会経済状況が大きく変化していることから、平成25年3月に10年計画として策定した「墨田区産業振興マスタープラン」を早期改定する必要があると報告があった。



(仮称) 墨田区産業観光マスタープラン構成案

～ 目次・概要～

目次

- 1 ミッション・ビジョン・行動規範 要約
- 2 マスタープランの構造・評価の視点
- 3 墨田区産業観光の歴史と現在地点
- 4 未来予測シナリオ
- 5 最悪のシナリオ
- 6 目指すべきシナリオ
- 7 **ミッション**
- 8 **行動規範**
- 9 **ビジョン**
- 10 重点目標
- 11 ミッション・ビジョン・行動規範まとめ
- 12 戦略の全体像
- 13 **個別戦略**
- 14 事業全体像
- 15 まとめ
- 16 資料編

概要

・想いをつなげ、未来を拓く。

前を向いて進もうとする「人」に寄り添い、共に悩み、時にぶつかり合いながら、これからも熱い「想い」に向き合っ
て、まちの「人」たちの幸せを考え続けたい。

・現場第一

・熟慮断行

・一致協力

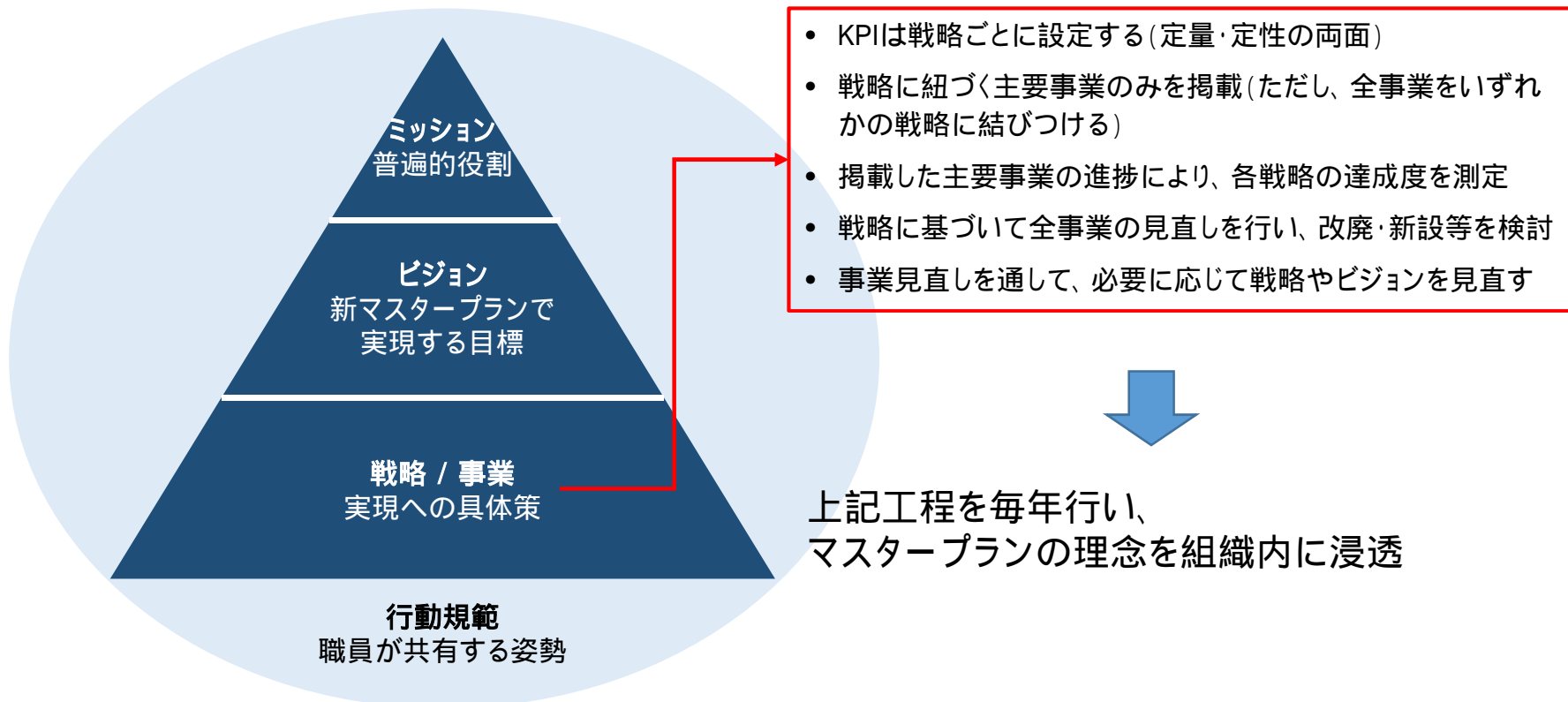
「熱い想いを持つ多彩な人たちが集うことで、思いも寄らない相乗効果が起こり、社会全体をけん引し続けるまち」

【戦略立案の視点】

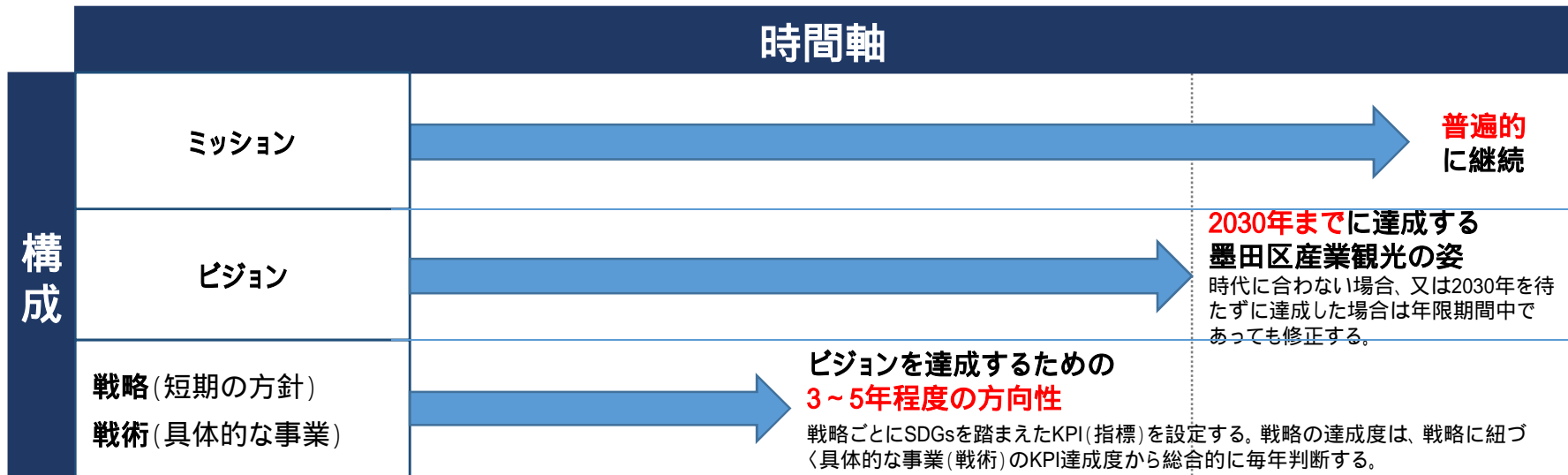
- 課題の発掘と解決
- 地域にある価値の発見
- 「共感」を生む取組
- わかりやすい発信
- 失敗を許容する

(仮称) 墨田区産業観光マスタープラン構成案 ~プランに基づく事業管理~

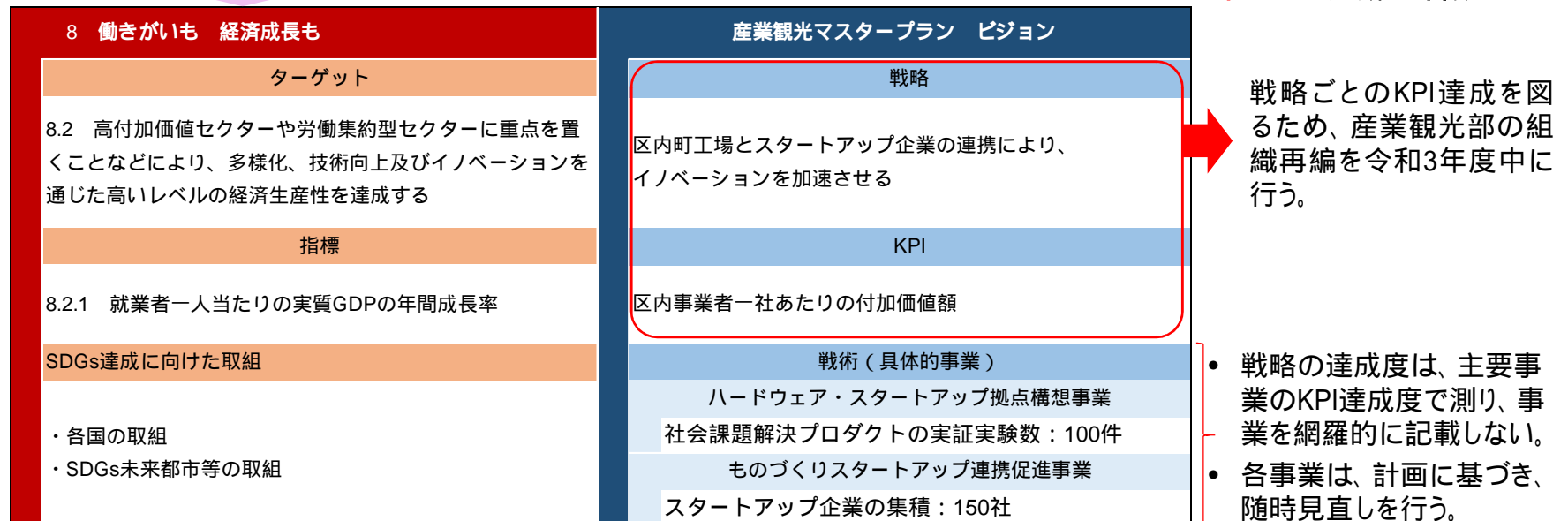
1. ミッション: 新マスタープランの策定にあたって、産業観光部の普遍的な役割を再確認
2. ビジョン: 新マスタープランの遂行で達成したい墨田区産業観光の姿
3. 戦略/事業: 目標達成のための具体策の策定
4. 行動規範: 上記の遂行にあたって求められる業務姿勢



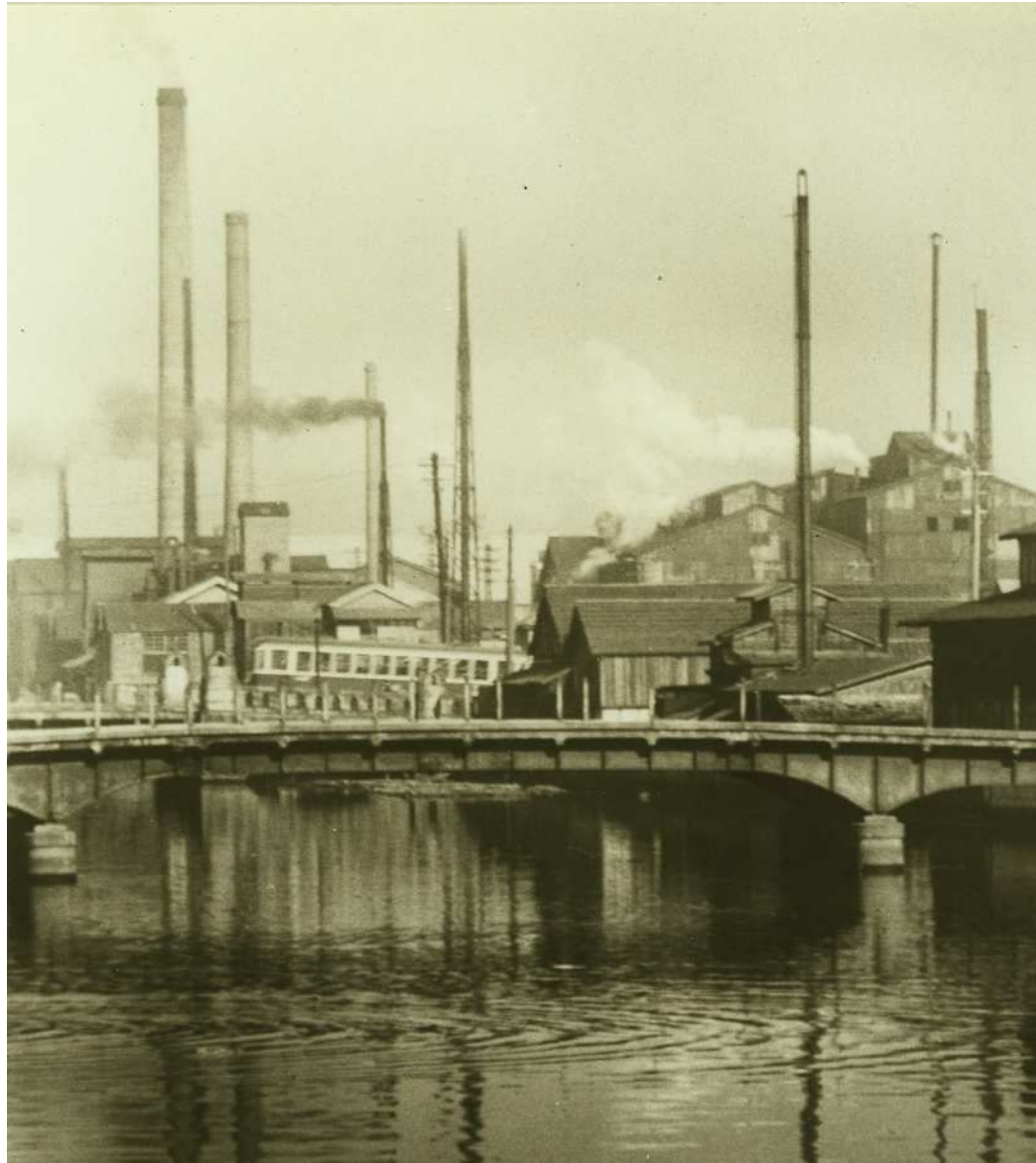
産業観光マスタープランの進捗管理



2030年 SDGs達成の年限



プロローグ:墨田区における産業振興の始まり



現場主義

墨田区の産業振興は、「中小製造業基本実態調査」から始まった。1977～1978年の2年かけ、すべての区内製造中小企業に対して行われたこの調査は、区職員が地域の「人」たちの日々の営みに触れ、産業振興の重要性を考えるきっかけとなった。そして、1979年、墨田区は全国で初となる「中小企業振興基本条例」を制定し、当時の職員たちは現場に足を運び、汗をかきながら、産業に携わる「人」たちの支援を行ってきた。

ミッション(産業観光部の存在意義)

私たち“墨田区産業観光部”の使命は、このまちに脈々と受け継がれてきた「想い」を、絶やすことなく未来へ確かにつなげていくことである。何かを成し遂げたいという熱い「想い」があれば、「人」は挑戦を楽しみ、「働きがい」を「生きがい」へとつなげていけるからだ。

墨田区の産業観光に携わってきた先人たちは、区内に働く「人」たちを支えることが地域の活性化になると信じ、様々な施策を実施してきた。その精神と行動こそが私たちの原点である。私たちは、常に挑戦し続ける「人」たちの熱い「想い」が、様々な「人」に輝きを与え、地域を支え日本を変えると信じてきた。そして、そうした「想い」に勇気づけられてきた。

想いをつなげ、未来を拓く。

「想い」の源にはいつも夢がある。生業や活動を通して夢の実現に挑戦し続けることによって、自分のためだけではない誰かの幸せにつながり、世の中でまっとうに評価される価値、つまり有形無形の「稼ぎ」に結実し、地域の自律継続的な発展が可能となる。特に熱い「想い」の共鳴から生まれる新たな可能性や「人」のつながりは、金銭には代えられない地域の財産となる。私たちはこの「想い」やつながりを支え続ける。

地域が発展することによって、多様な視点からさらに新たな価値観が生まれ、まちに関わる「人」たちのつながりや生きがい、さらには経済の仕組みに至るまで、これまでとは違うありようが見えてくるはずだ。それはまちの姿すら変えてしまうかもしれない。それでも私たちは変わらず、前を向いて進もうとする「人」に寄り添い、共に悩み、時にぶつかり合いながら、これからも熱い「想い」に向き合って、まちの「人」たちの幸せを考え続けたい。

行動規範(産業観光部職員が共有する価値観)

現場第一

現場がすべての学びの出発点である。現場の声に耳を傾け、人の想いに触れてこそ、自分たちに何が求められているのか知ることができる。常に好奇心を持ち、そこから解決すべき課題を自ら探し、見つけだすこと。

熟慮断行

課題は複合的に絡み合い、当たり前を感じたことも変わっていく。常に広い視野を持ち、自らのバランス感覚を養うことで、取舍選択や状況に合わせた判断が可能になる。すべての情報や意見を精査して最善の策を深く考え、すばやく確実に実行に移すことを心がけること。

一致協力

私たちは誰も万能ではない。しかし皆で協力すれば一人ではなしえないことが可能になる。一人で抱え込むことなく、ひとつの部として、気軽に周りの人に相談し、互いに助け合うこと。

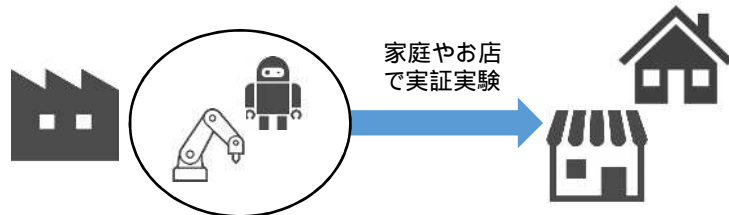
ビジョン(目指すべきまちの姿)

ビジョン
(2030年のまちの姿)

「熱い想いを持つ多彩な人たちが集うことで、思いも寄らない相乗効果が起こり、社会全体をけん引し続けるまち」

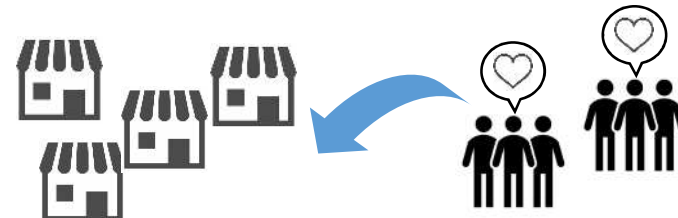
CASE.1 新たなイノベーションの創出

社会課題解決型の製品・サービス開発・提供による
区内企業の高付加価値化



CASE.2 魅力的な個店の増加

魅力的なお店の増加・リピーター獲得による
すみだファンの増加



CASE.3 多様な交流の創出

オン/オフラインのつながりをきっかけとする
新たな企画・イベント等の実施

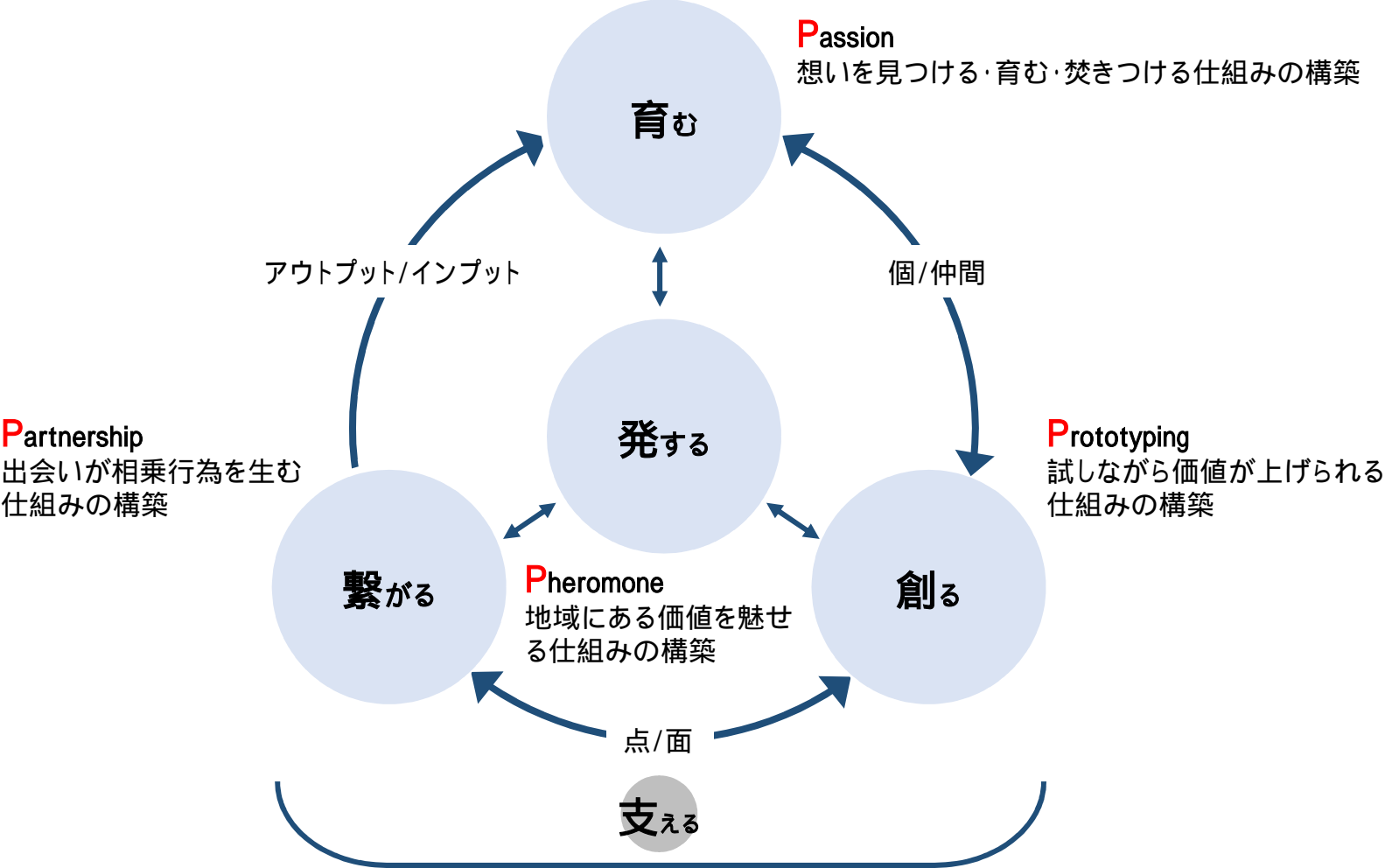


- 大小様々な取組が集まり、その総体として 「墨田区」というまちが注目される。
- 工業・商業・観光の枠にとらわれないつながりが生まれ、相互補完しながら、誰もが挑戦できる土壌ができています。

戦略の方向性

ビジョン達成に必要な視点

課題の発掘と解決	地域にある価値の発見	共感	わかりやすい発信	失敗を許容する
----------	------------	----	----------	---------



戦略で実施が想定される施策のイメージ

育む

Passion

- フロンティアすみだ塾
- STEAM人材育成事業(工場・商店街等を学びの場とした人材育成)
- ものづくり体験事業
- 創業支援事業
- 人材発掘・就労支援事業
- 観光人材育成事業

創る

Prototyping

- スタートアップ連携促進事業
- ハードウェア・スタートアップ拠点構想事業
- すみだビジネスサポートセンター
- 産学官金連携の促進
- 創業支援事業

繋がる

Partnership

- すみだビジネスサポートセンター
- 商業コーディネーター
- 地域DMO支援事業
- 産学官金連携の促進
- 他自治体/各団体等との連携

発する

Pheromone

「発する」ためには魅力発掘が必要

- すみだ地域ブランド戦略事業
- サブス区
- SDGs登録・認証制度の新設
- 観光プロモーション
- 各事業者・商店街等の取組PR

支える

- 各種融資・補助金制度
- BCP対策(緊急事態への対応)
- すみだビジネスサポートセンター
- 商業コーディネーター
- 区商連との連携及び支援
- 公共空間の利用促進
- 観光資源のデータベース化

区役所は、事業者や地域の人たちの活動を「支える」ことが前提であり、その他、4つの基盤となる。

- ✓ 戦略に沿って、全職員が各事業の整理 / 新規事業等の検討
- ✓ 戦略を効果的に実施するため、産業観光部の組織再編も視野に入れた検討を進める。

産業観光マスタープランにおけるSDGsの考え方

Sustainable Development Goals (SDGs、持続可能な開発目標)とは？

2015年9月の国連サミットで全会一致で採択された2030年を年限とする国際目標

- ・17ゴール、169ターゲット、232指標で構成
- ・キーワードとなる5つの「P」:
People、Prosperity、Planet、Peace、Partnership

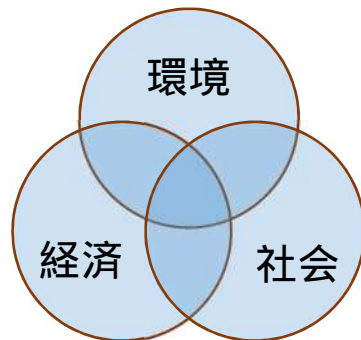
前身のMDGs(2001年策定)では、主に途上国が達成すべき8ゴールが記載されていたが、SDGsでは先進国・途上国に関わらず、全ての主体が取り組むべきゴールに再設定されている。



目的:豊かで持続可能な社会の実現

産業観光部とSDGsの関係性

複眼的視野に立った取組の実施



目標8「働きがい」と9「経済基盤」に注力



【参考】内閣府の取組：SDGs未来都市

SDGsの位置づけ

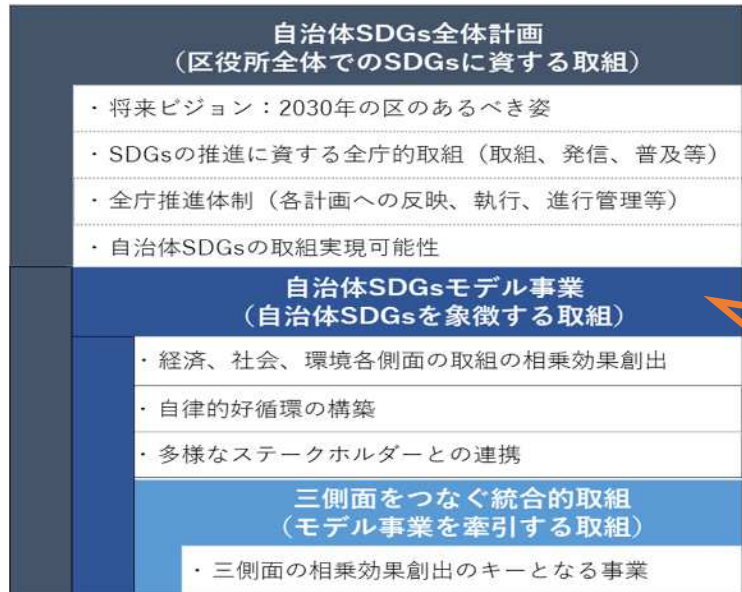
第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」
 「Society5.0の推進」と「SDGsの達成」を地方創生の重点業績評価指標として設定

2024年KPI(成果目標)
 都道府県及び市区町村におけるSDGsの達成に向けた取組割合:60%

SDGs未来都市

SDGsに関する優れた取組を行う地方公共団体を毎年30自治体程度選定
うち特に先導的な取組を「自治体SDGsモデル事業」として毎年10事業選定

- 2018～2021年度 未来都市:124自治体 モデル事業:40事業
- 2021年度 墨田区は「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」にダブル選定



「働きがい」を「生きがい」と「暮らし」につなげるデザイン
 ～プロトタイプが実装できるまち～

墨田区のSDGs推進は「**産業**」を軸に展開

産業振興を軸としたプロトタイプ実装都市
 ～ものづくりによる「暮らし」のアップデート～

ハードウェア・スタートアップ拠点構想事業



本日ご議論いただきたいこと

説明した内容について、主に以下の点についてご意見やお考えをお聞かせください。

- マスタープランの構成について、過不足を感じるか？
- ビジョン(2030年までに目指すべきまちの姿)の方向性について、具体的なイメージの想起ができるか？
- 戦略の方向性について、過不足を感じるか？
また、戦略の実行やプランの進捗管理においては、各団体・各業界との連携が必要不可欠となるが、現時点で課題や懸念事項等があるか？